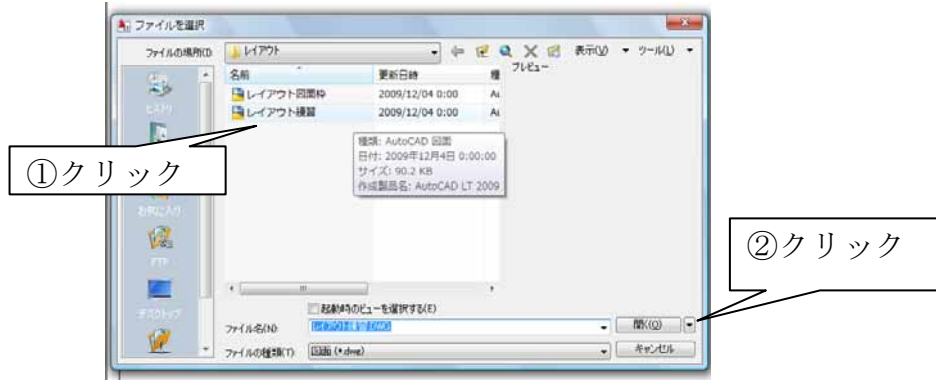
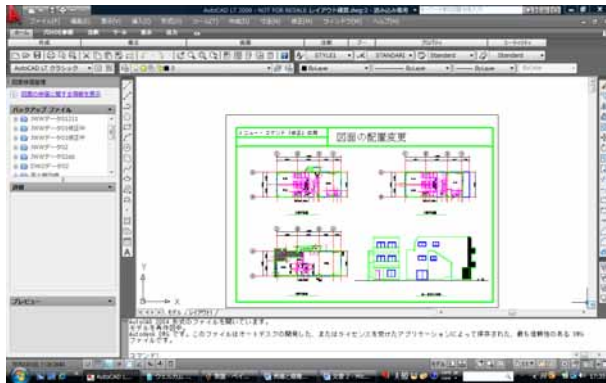


レイアウトの作成に関する練習問題

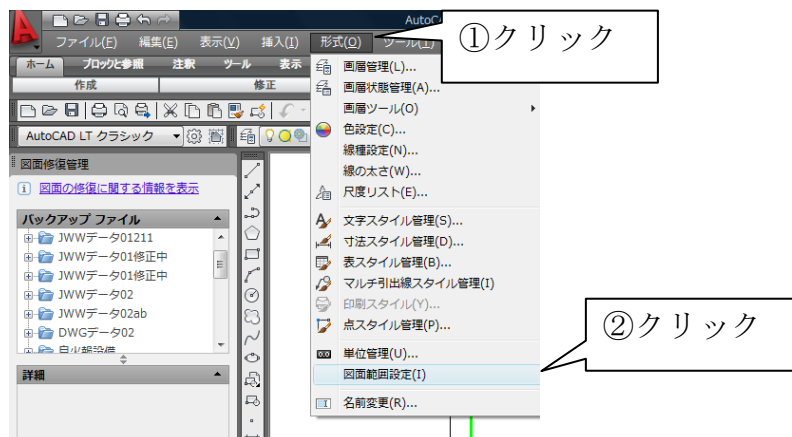
手順1、「ファイル」から「開く」を選択します。



手順2、CRT 画面にデータを表示します。



手順3、「形式」メニューの「図面範囲設定」で既存図面のサイズを確認します。



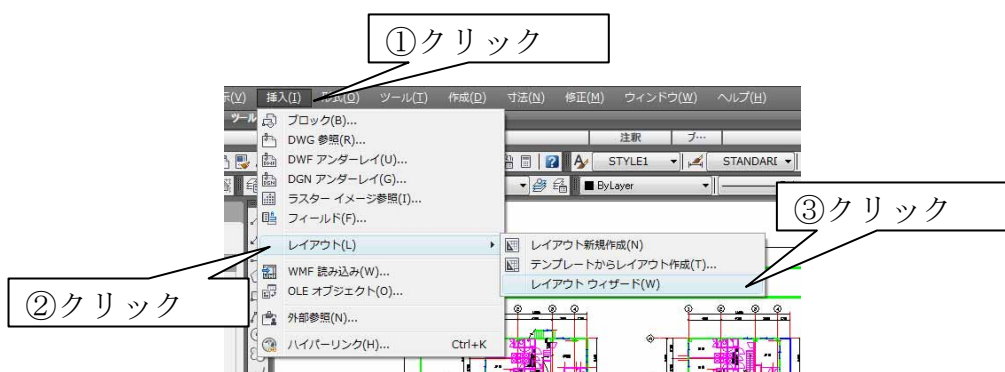
手順4、コマンドラインを確認します。

```
ファイルです。  
コマンド: limits  
モデル空間の図面範囲をリセット:  
左下コーナーを指定 または [オン(ON)/オフ(OFF)] <0.0000,0.0000>:  
右上コーナーを指定 <59400.0000,42000.0000>:  
コマンド:
```

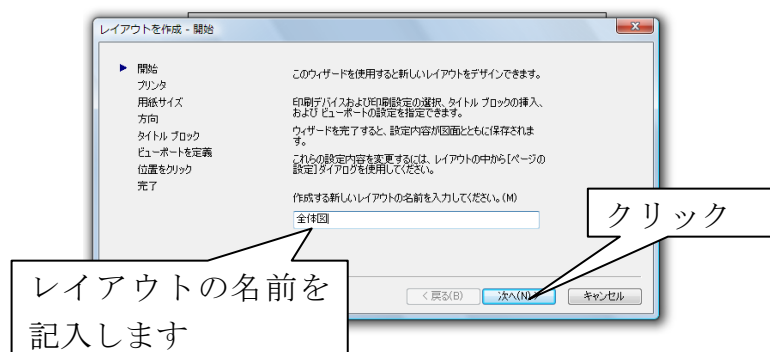
用紙サイズ「A2」・尺度「1/100」で作成されています。

課題① 全体図は、尺度「1/100」のレイアウトを作成する処理方法。

手順1、「挿入」メニューの「レイアウト」から「レイアウトウィザード」を選択します。



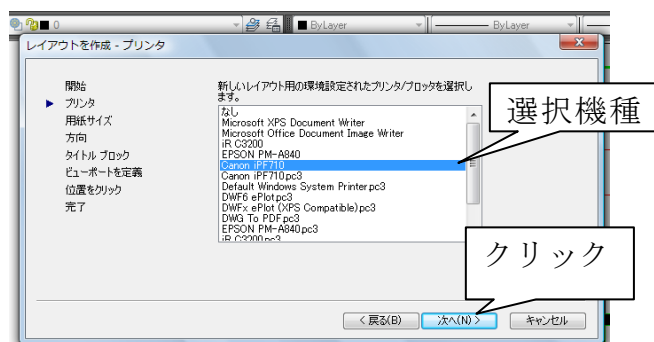
手順2、作成する新しいレイアウトの名前を入力します。



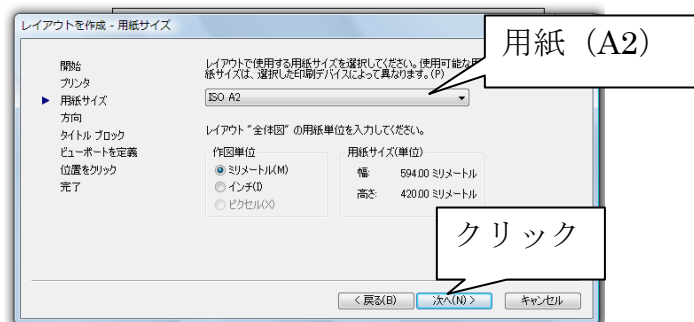
手順3、使用する印刷機を指定します。

印刷する用紙に対応した機種を選択します。

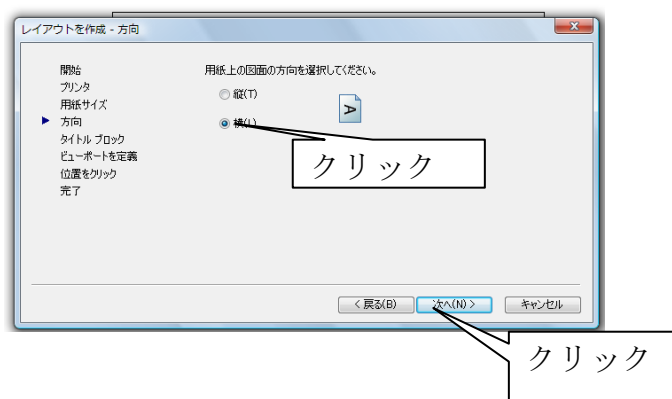
プロッター(A1 用紙対応)・プリンタ (A3 用紙対応) です。



手順4、印刷用紙サイズを設定します。

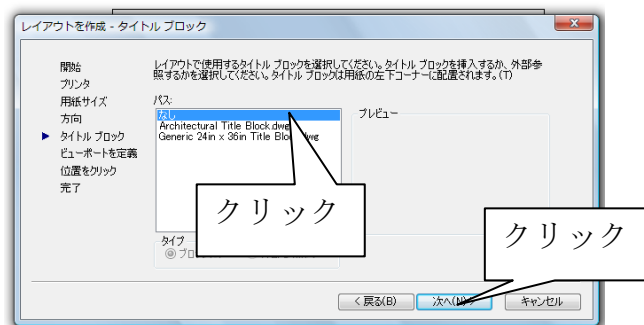


手順5、用紙の方向を設定します。



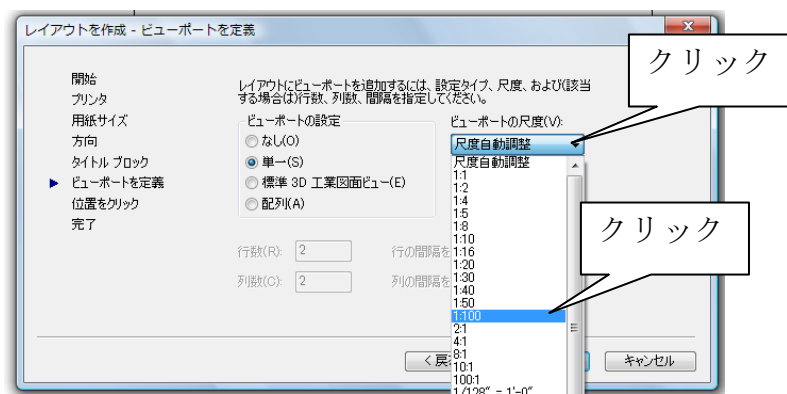
手順6、タイトルブロックの設定をします。

図面枠をテンプレートで、作成している場合はこの時点で図面枠を選択します。

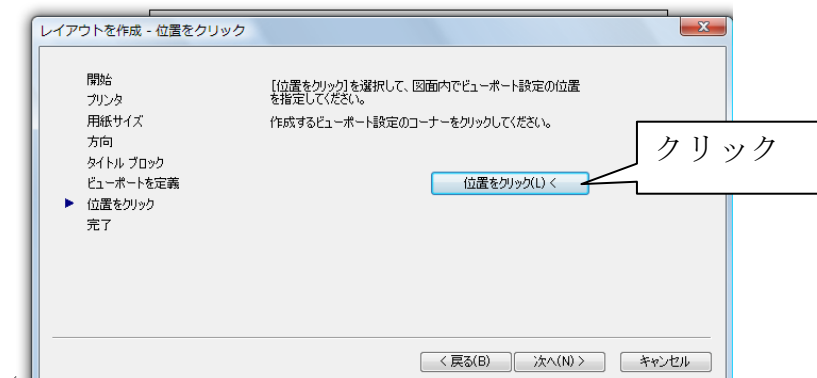


手順7、ビューポートを定義します。

尺度を指定します。尺度「1/100」を選択し「次へ」をクリックします。



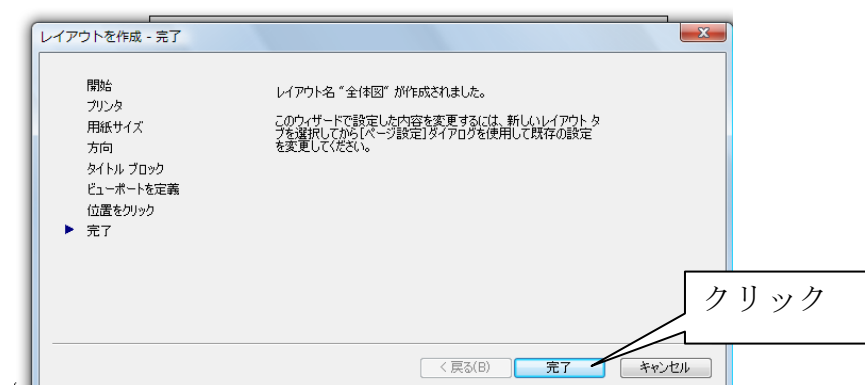
手順8、位置をクリックします。



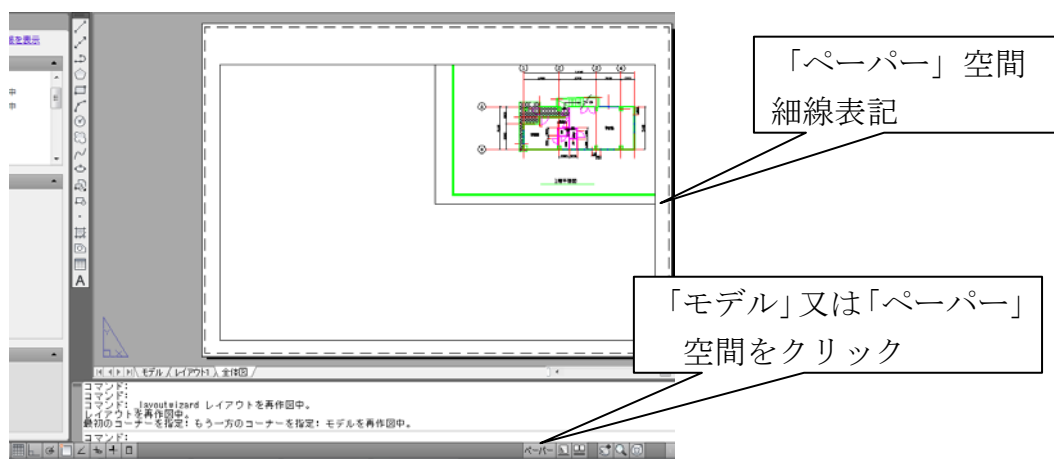
8-1 CRT 画面で位置を選択します。



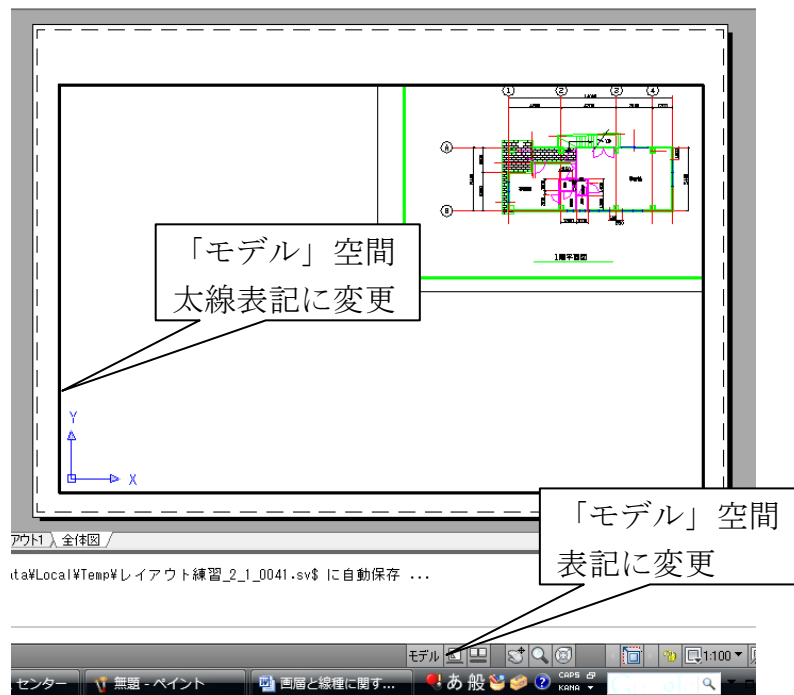
8-2 完了ボタンを選択します。



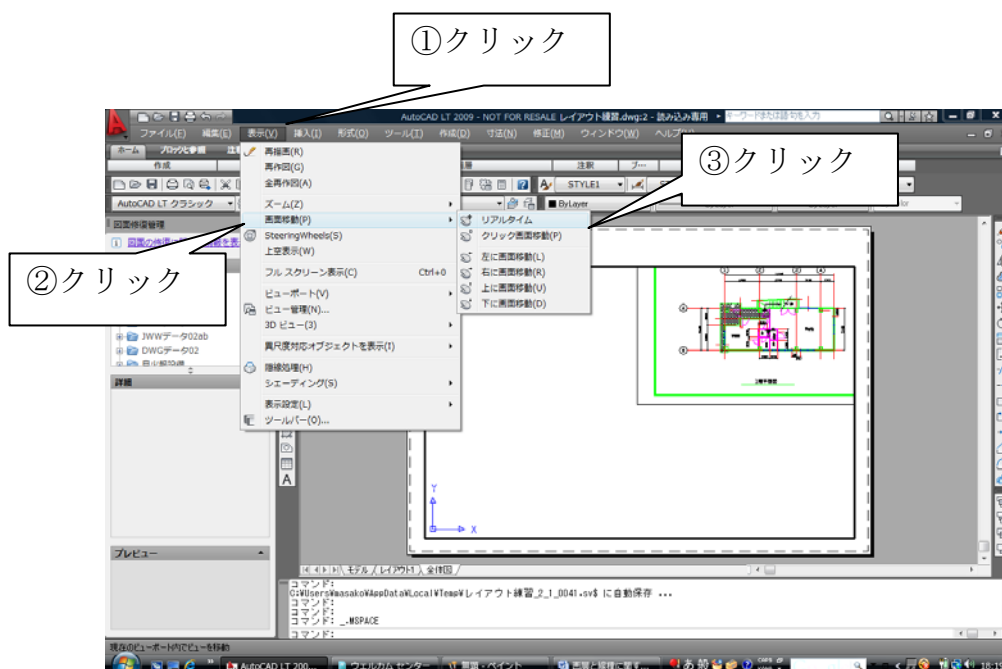
手順9、CRT 画面に戻り画面の調整をします。



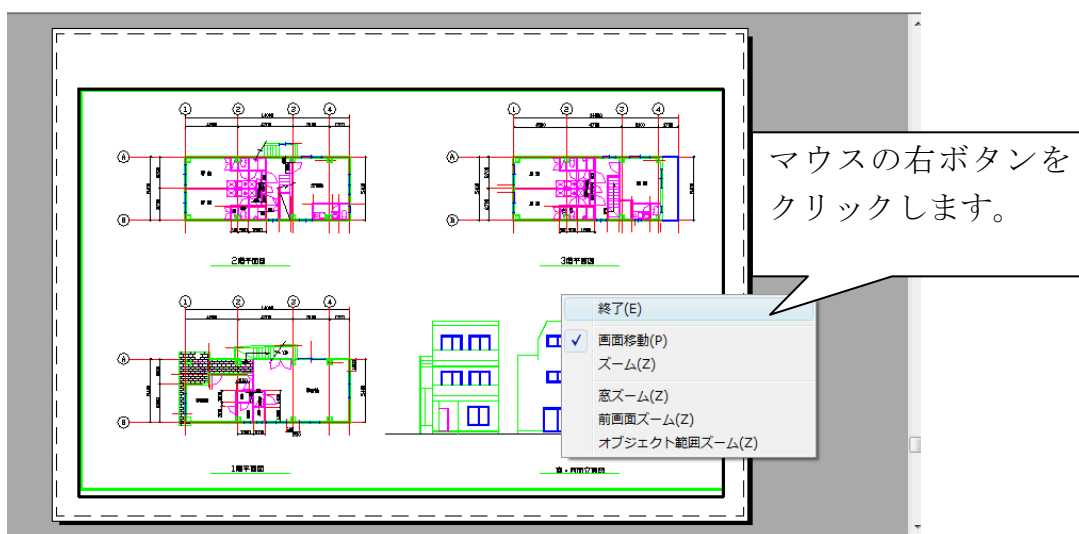
9-1、「ペーパー空間」から「モデル」に変更します。



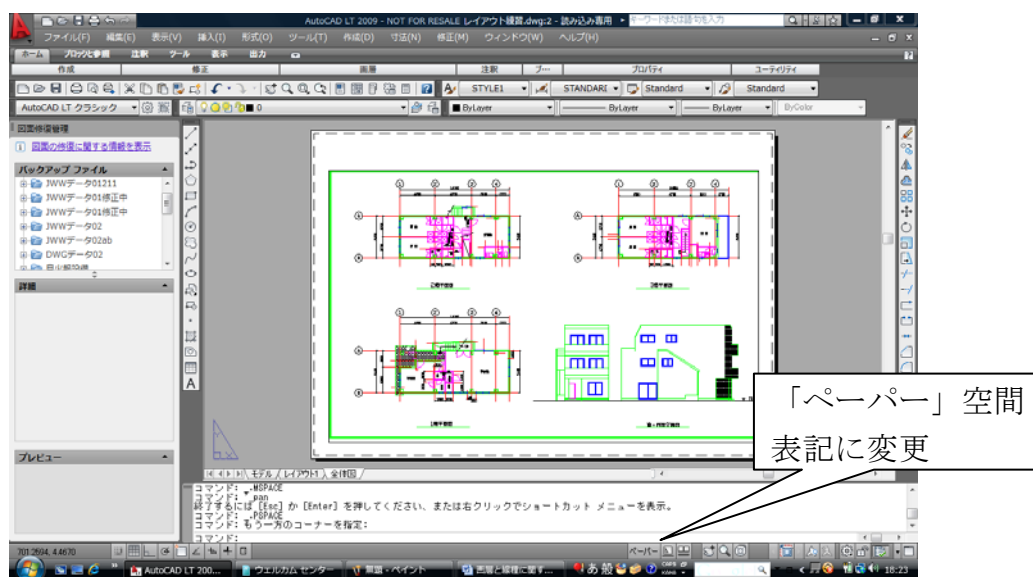
9-2、「表示」⇒「画面移動」⇒「リアルタイム」を選択します。



9-3、「表示」⇒「画面移動」⇒「リアルタイム」の操作を「終了」します。

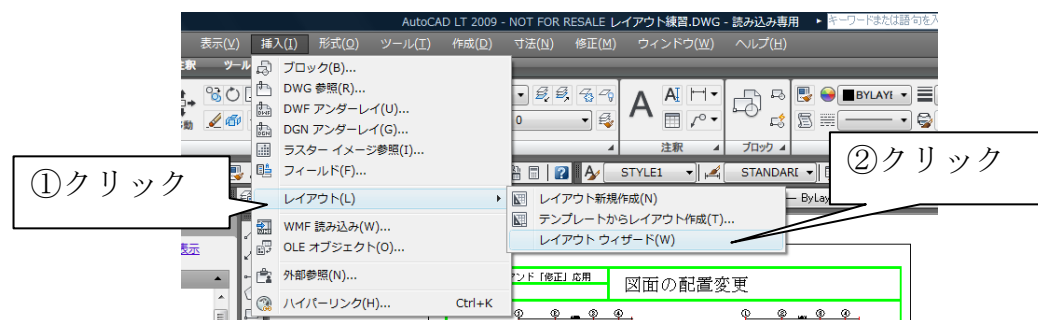


手順 10、図面の移動が終了した後、「モデルからペーパー」空間に変更します。



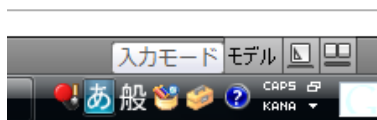
課題②、各階の平面図と立面図は尺度「1/50」のレイアウトで作成する。

手順①、「挿入」メニューの「レイアウト」項目「レイアウトウィザード」を選択します。

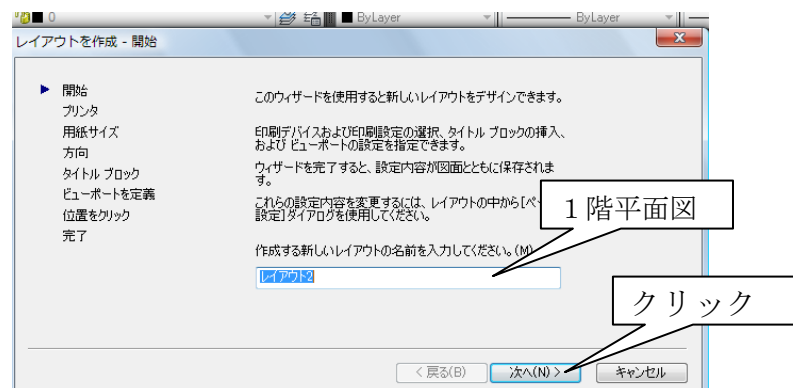


手順②、「開始」項目で、レイアウトの名前を付けます。

2—1 入力モードを変更します。

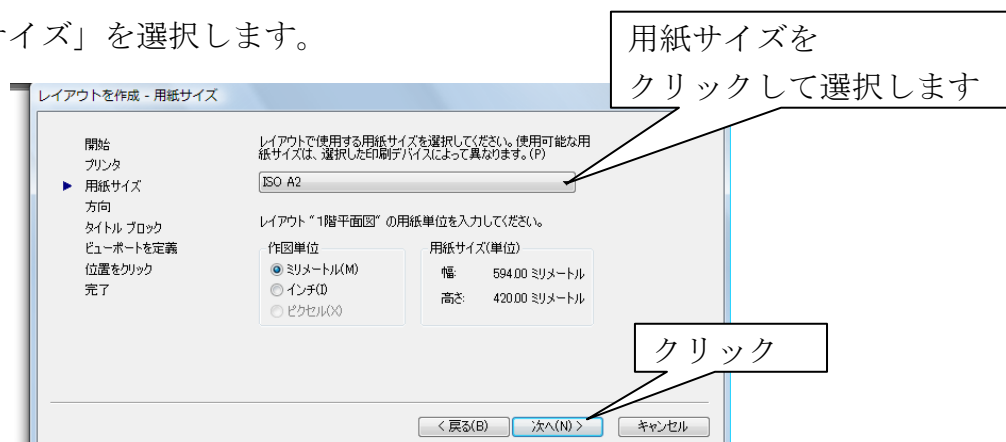


2—2、「1 階平面図」と入力します。



2—3、「プリンタの機種」を選択します。

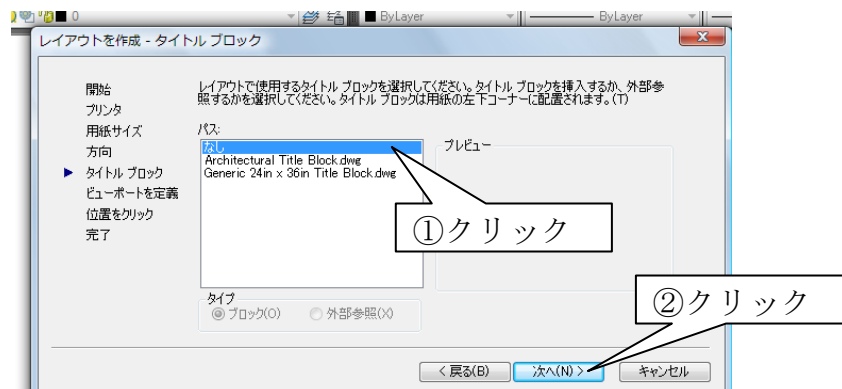
2—4、「用紙サイズ」を選択します。



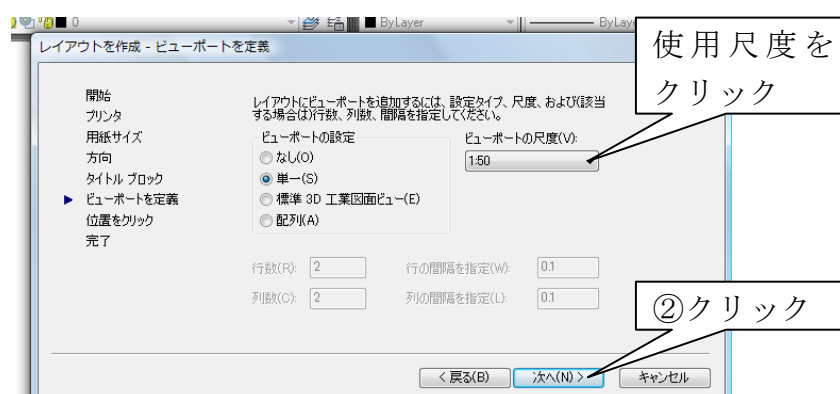
2—5、「方向」を選択します。



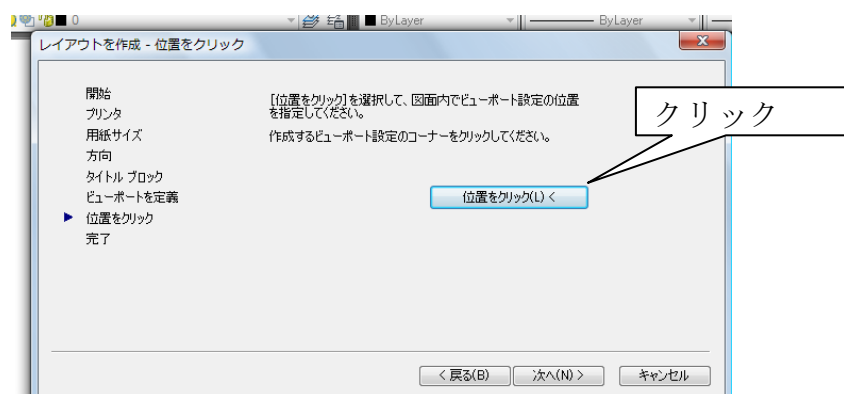
2—6、「タイトルブロック」を選択します。



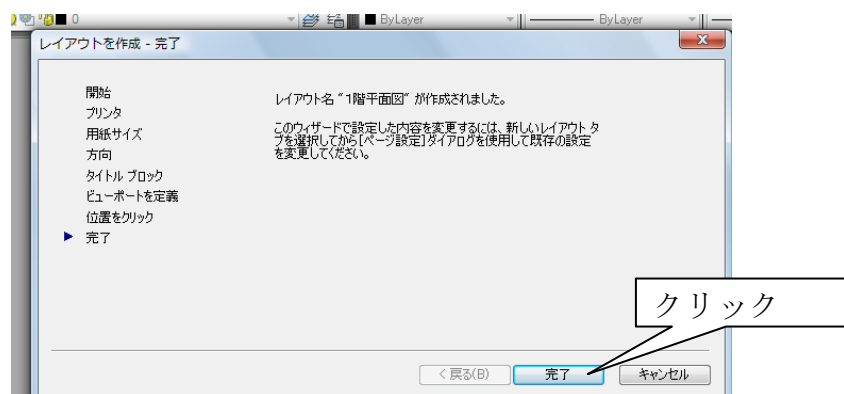
2—7、「ビューポートを定義」を選択します。



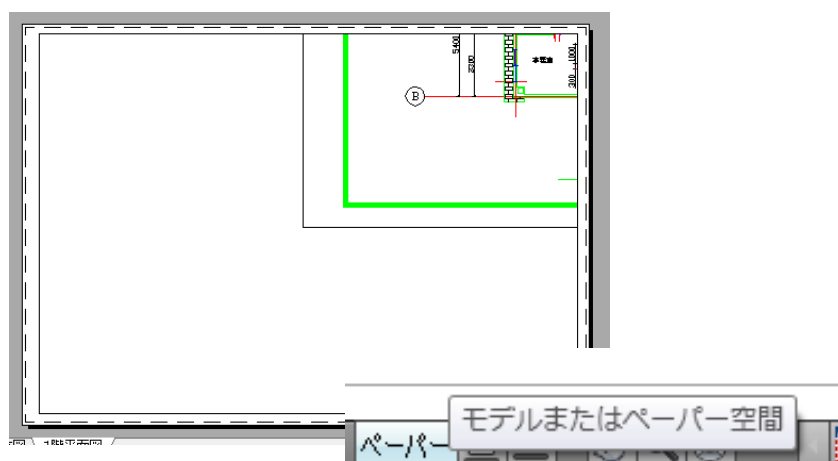
2—8、「位置をクリック」を選択します。



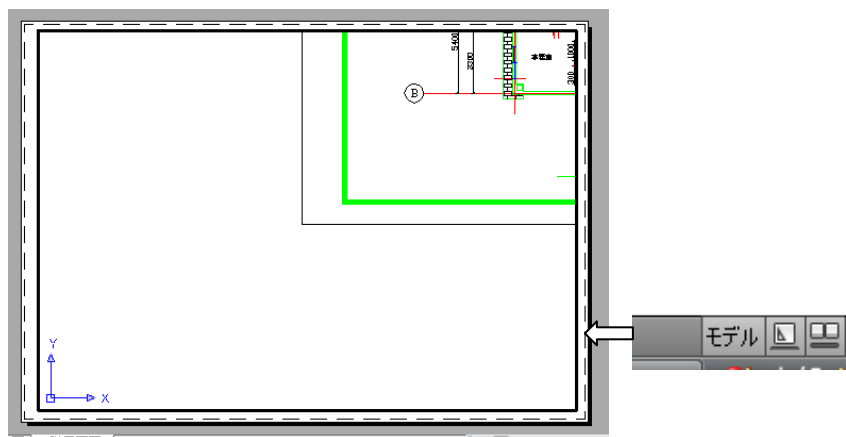
2—9、「完了」を選択します。



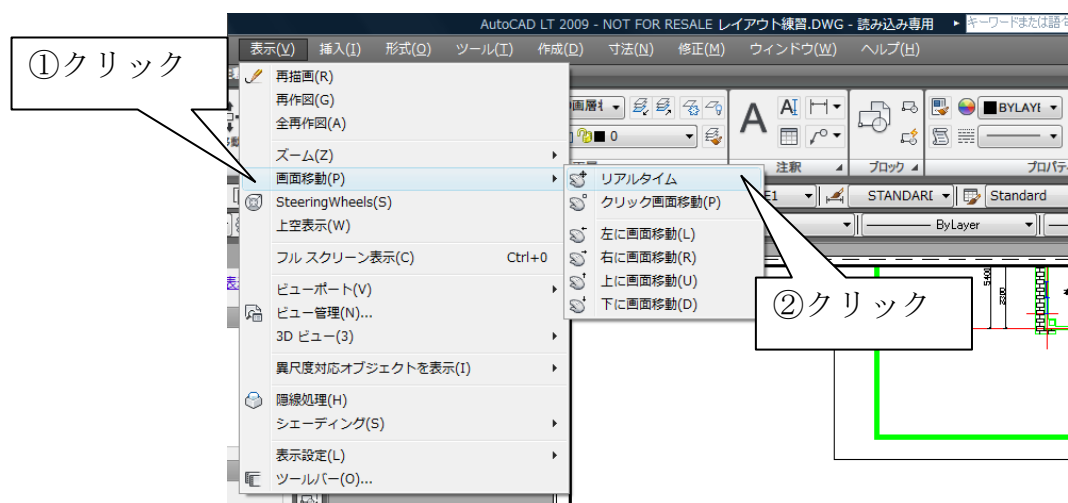
手順③、CRT 画面が表示します。



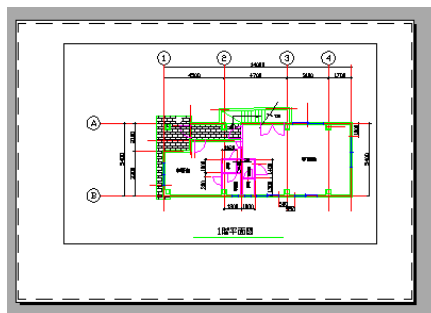
手順④、レイアウト枠を選択して「ペーパー空間」から「モデル空間」に変更します。



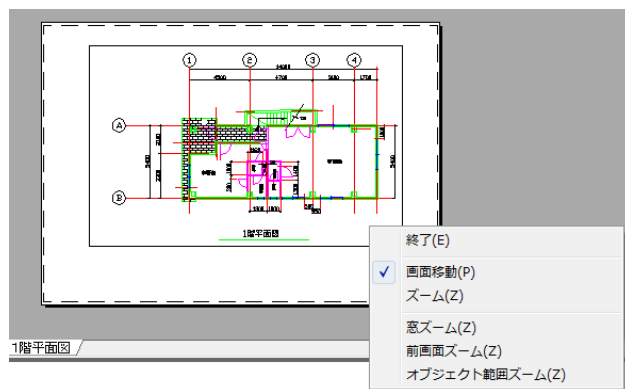
手順⑤ 「表示」メニューの「リアルタイム」を選択します。



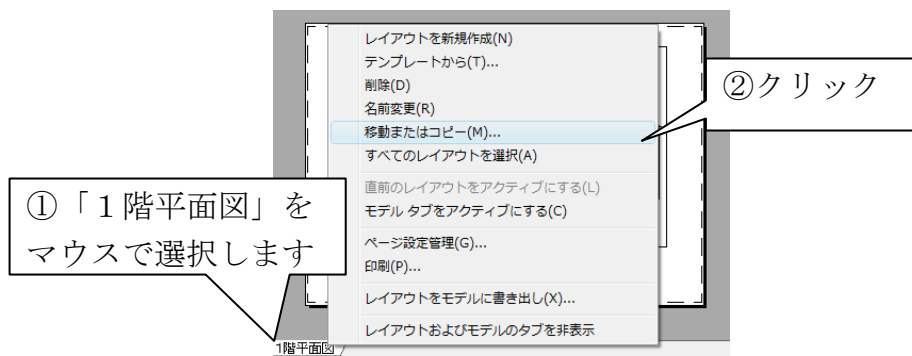
手順⑥、オブジェクトを移動します。



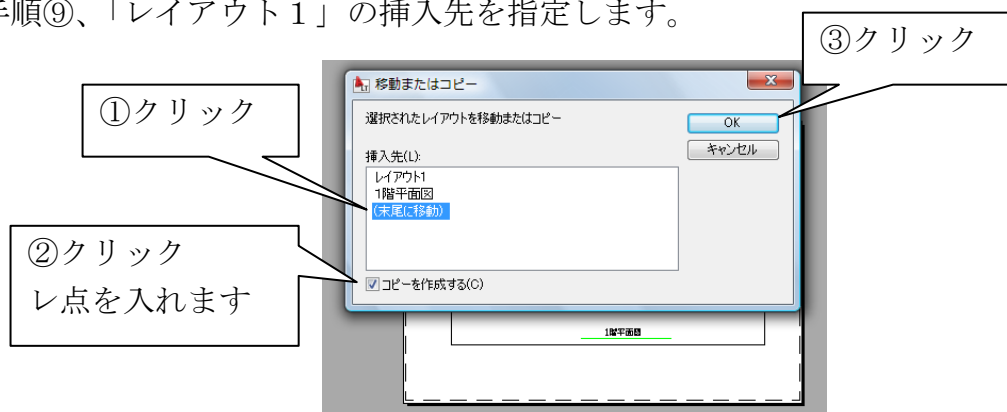
手順⑦、「表示」メニューの「リアルタイム」選択を「終了」します。



手順⑧、既存のレイアウトを利用して「2階・3階・立面図」を作成します。



手順⑨、「レイアウト1」の挿入先を指定します。

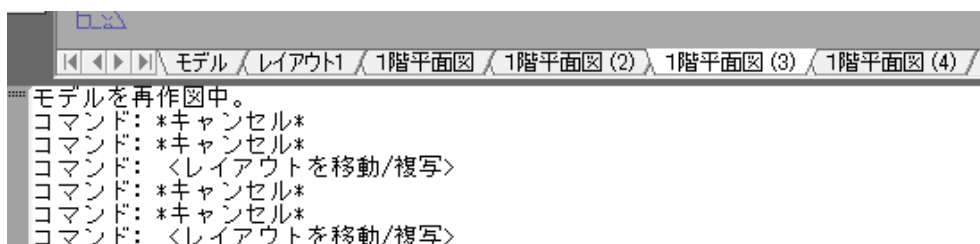


「レイアウト1」を末尾に移動し「コピーを作成する」にレ点を付けます。

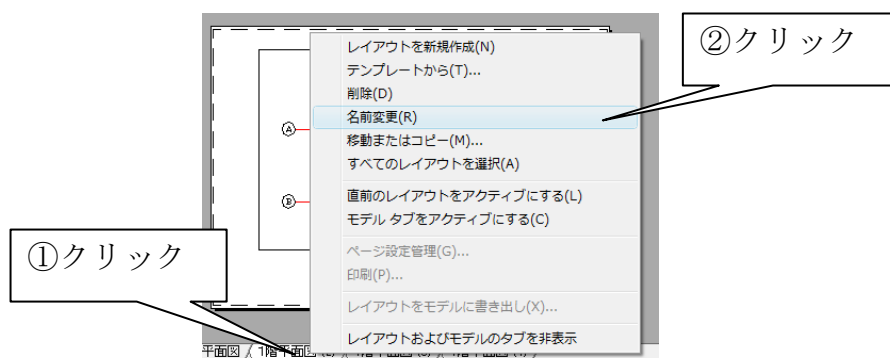
9—1、「1 階平面図 (2)」が作成されます。



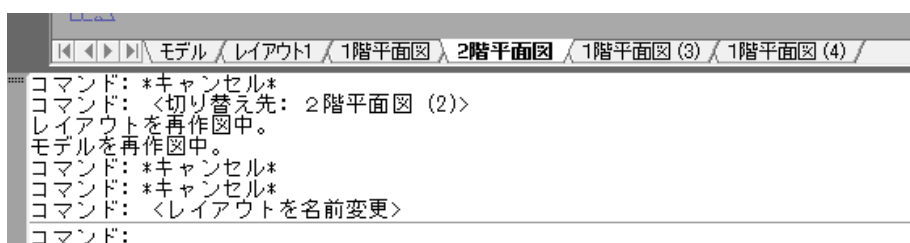
9—2、「1 階平面図 (2、3、4)」を作成します。



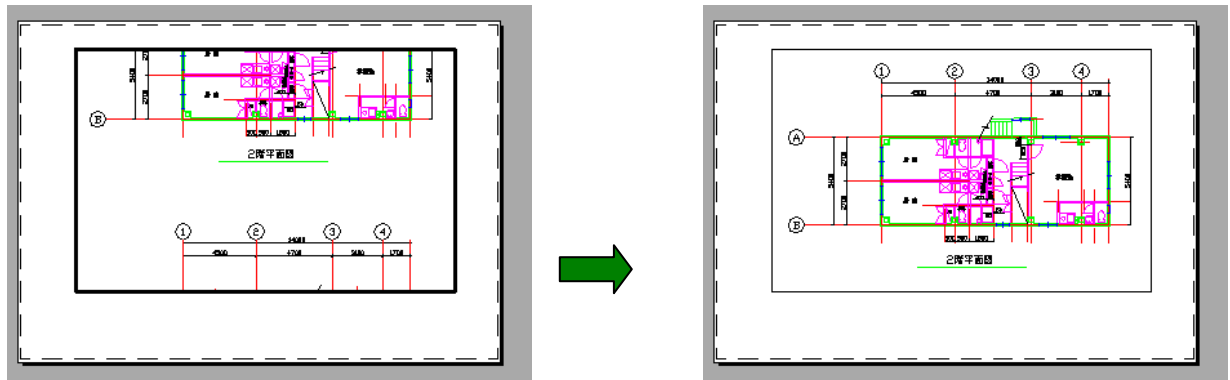
9—3、「1 階平面図 (2、)」の「名前の変更」を選択します。



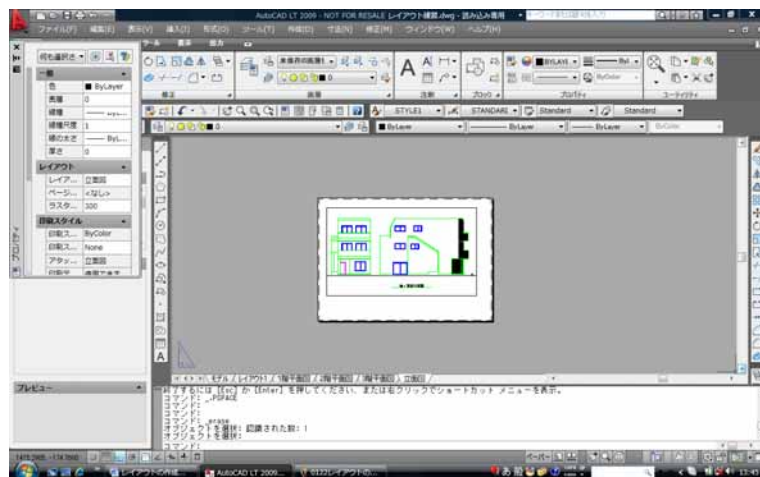
9—4、「2 階平面図」に「名前を変更」します。



手順⑩、「表示」メニューの「画面移動」項目「リアルタイム」を選択しオブジェクトを移動します。



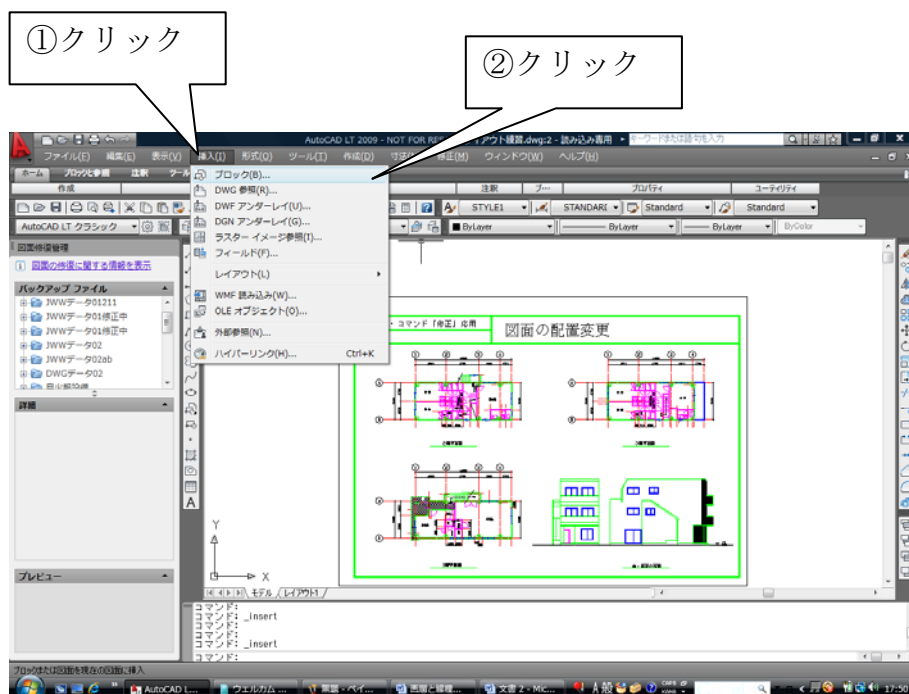
手順⑪、「1階・2階・3階・立面図」のレイアウトを「表示」メニューの「画面移動」項目「リアルタイム」を選択しオブジェクトを移動し作成します。



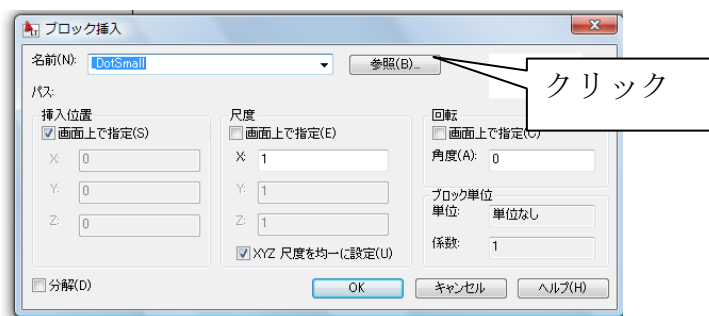
課題③、A2 サイズの図面枠をレイアウトに配置する。

手順 1、図面枠を挿入します。

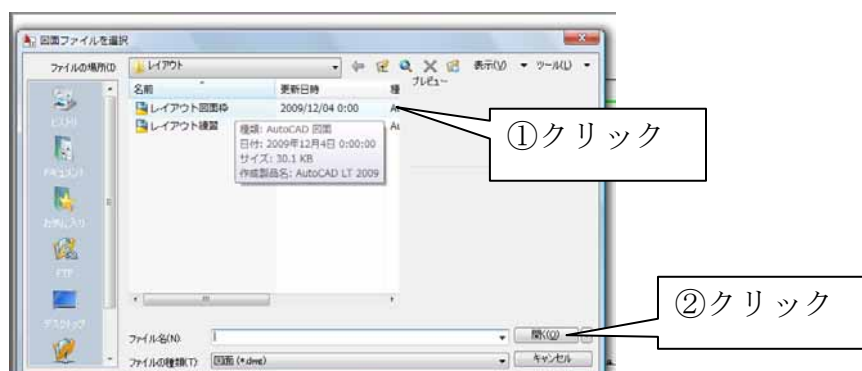
「挿入」メニューの「ブロック」を選択します。



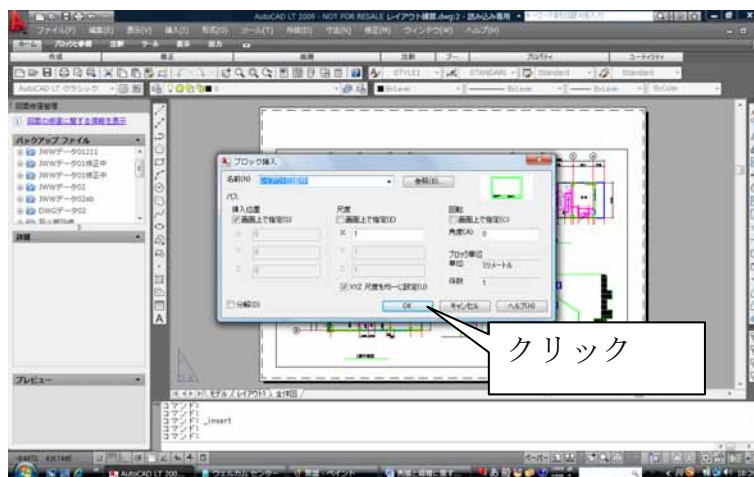
1-1、「参照」ボタンを選択します。



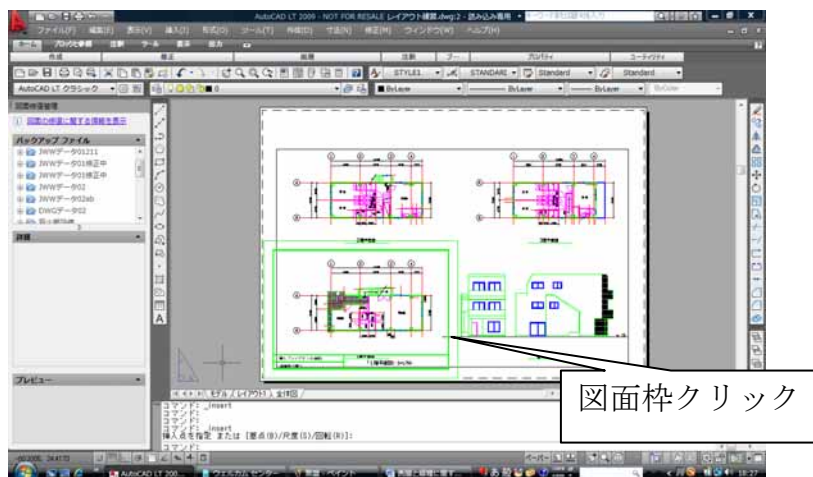
1-2、ファイルを選択します。



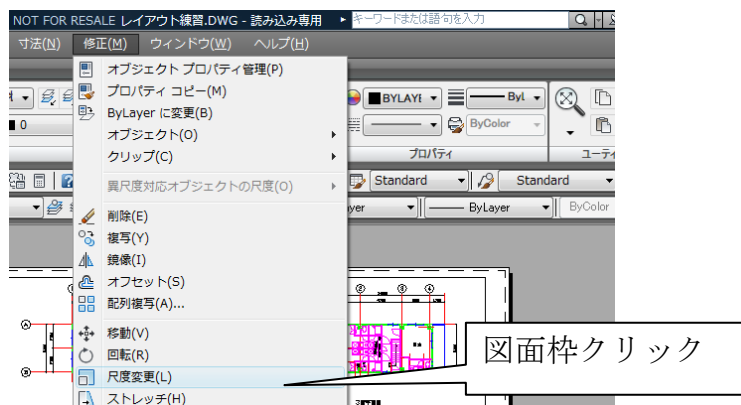
1-3、「OK」ボタンを選択します。



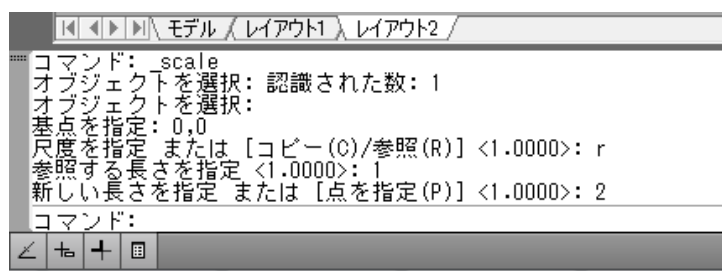
1-4、図面枠が挿入しました。



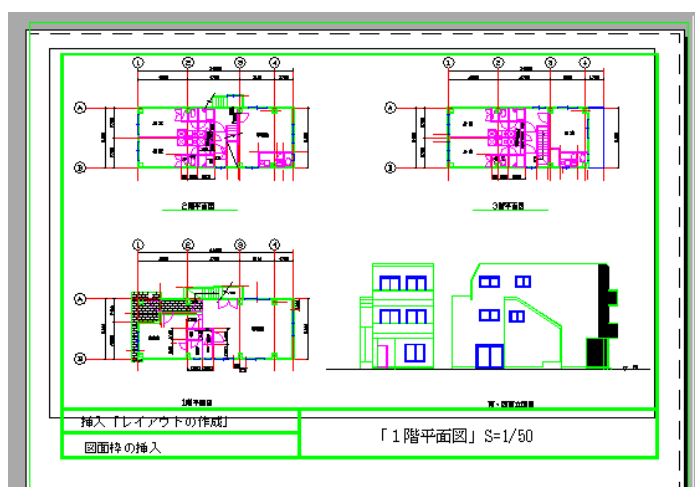
1-5、「修正」メニューの「尺度変更」を選択します。



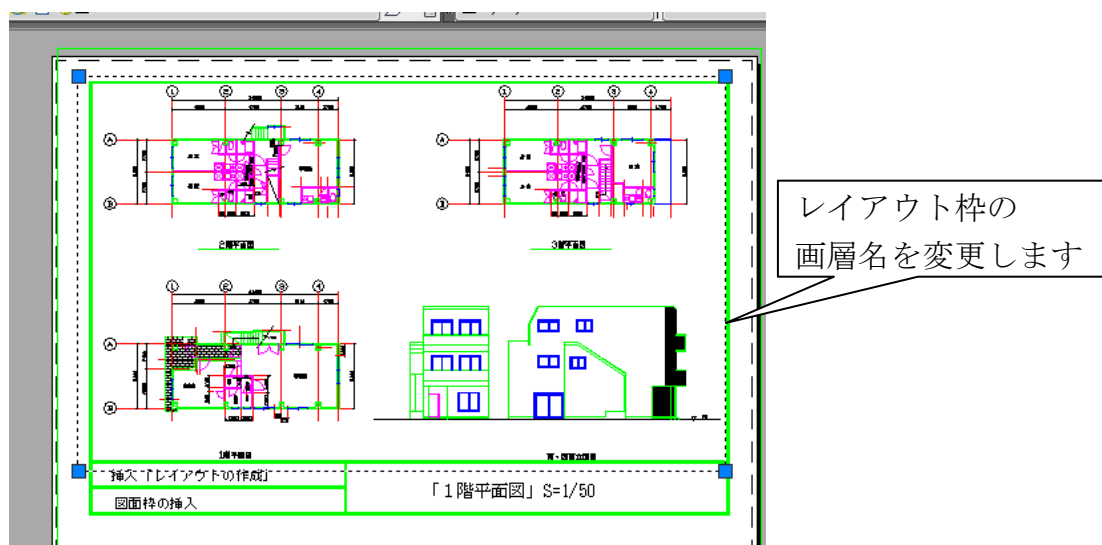
1-6、コマンドラインに従って操作します。



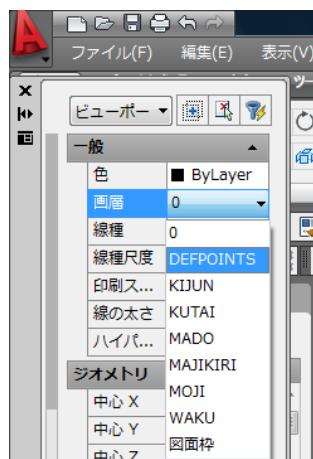
1-7、図面枠内にオブジェクトを「修正」メニューの「移動」を利用します。



1-8、「修正」メニューの「修正オブジェクト管理」を利用して「レイアウト枠」の画層名を変更します。

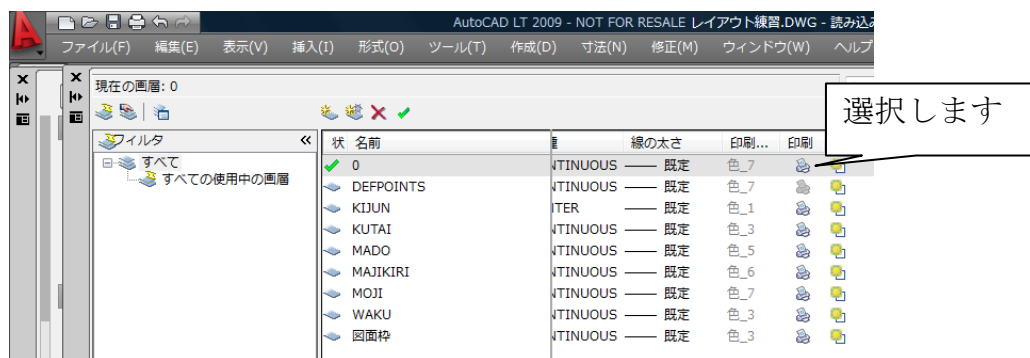


1—9、「画層名」を「0画層」から「DEFPOINTS」に変更します。



1—10、「DEFPOINTS」の画層を印刷できないように変更します。

「ホーム」の「画層プロパティ管理」を選択しない設定にします。



1—11、「修正」メニューの「オブジェクト」の項目「文字」の「編集」を選択します。
図面枠内の文字列を変更します。

